

岡山県における養豚経営支援対策について

岡山県農林水産部畜産課 食肉鶏卵班

近年の配合飼料価格等の高騰による収益性の低下により、畜産経営はかつて無い危機的状況にあります。このため、国においては、本年2月に「畜産・酪農緊急対策」を発表し、生産性向上に関する事業の創設などが措置されました。また、6月には、配合飼料価格安定制度の安定運用を図るため、4%追加補てんを停止することによる追加緊急対策が発表されたところです。

この中で、養豚にかかる主な経営支援対策に

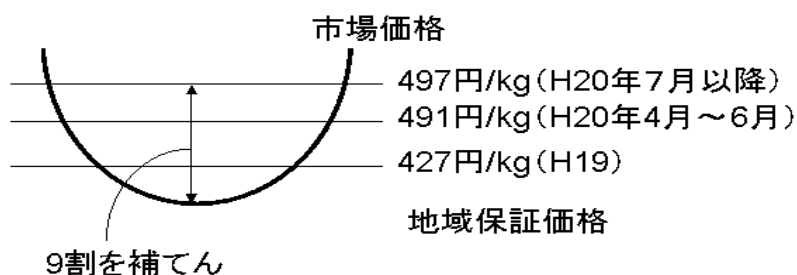
ついては、次のとおりです。

1. 肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業（事業実施期間：20～21年度）

従来の「地域肉豚生産安定基金造成事業」が組み替えられ、地域保証価格を引き上げるのに要する生産者積立金の一部を国が助成する事業となりました。

なおH20年度における地域保証価格は次のとおり改正されました。（図1）

図1 地域保証価格の推移



2. 養豚経営緊急安定化特別対策事業（事業実施期間 20年度）

この事業では、肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業の契約農家であって、生産性の向上等を通じた収益性の改善を図るため配合飼料使用量の低減に取り組む肉豚生

産者に対して、肉豚価格差補てん金が支払われた肉豚の出荷頭数に応じて、支援交付金（肉豚出荷1頭当たり150円）を交付する事業です。

事業実施にあたっては次の条件をすべて満たす必要があります。

(1) 肉豚価格差補てん緊急支援特別対策

事業を実施していること

(2) 配合飼料価格安定制度に加入していること

(3) 生産性の向上を図る次の取り組みを行うこと（表1）

表1 配合飼料低減に対する取組

国産飼料の利活用
・エコフィード、農産副産物の活用
・自給飼料の生産・利用
飼料効率の向上
・サプリメントの給与等
（これらの利活用に関しては最低限度の取組量が示されています。）

したがって、肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業と養豚経営緊急安定化特別対策事業の両方を実施しており、豚枝肉の市場価格が地域保証価格を下回った時に限り、生産者が補てんを受けられる仕組みとなっています。

3. 養豚生産性向上緊急対策事業（事業実施期間 20～21 年度）

これは「地域養豚振興特別対策事業」が組み替えられ、新規に強化された事業です。

飼料価格高騰に対処するため、生産性の向上を強化する事に対しては2の事業と同様ですが、事故率の低減や繁殖性及び労働生産性の向上など表2の取り組みに対して、補助されるより実践的な事業となっています。

表2 生産性向上促進対策の内容

事故率低減対策

- ・病原体のまん延防止等
- 繁殖性向上対策
- ・人工授精の普及、早期妊娠診断の実施
- 労働生産性の向上対策
- ・飼料給与方式の改善等

詳しくは岡山県畜産協会もしくは岡山県農林水産部畜産課までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

岡山県畜産協会価格安定部

TEL 0 8 6 - 2 2 2 - 8 5 7 5

岡山県農林水産部畜産課食肉鶏卵班

TEL 0 8 6 - 2 2 6 - 7 4 3 0